



自治会・町内会・各種団体の皆様へ
県政報告や意見交換会等を開催して下さい。
県職員とともに喜んで伺います。



地域の声を県政に反映
県河川がある自治会・町内会長様
県のリバーフレンドシップ事業
昨年は瀬古自治会が参加しました。
高洲の自治会が参加を検討中!!

おち あい しん ご
自民改革会議 五輪会
静岡県議会議員 落合慎悟



静岡県議会報告
平成25年1月17日号(年4回発行)

11/13 ワシントンDCアメリカ合衆国議会を視察



米国連邦議会議事堂には団体の見学者が多く訪れていたが、イノウエ議員スタッフが優先的に内部の議場や円形ホールなどを案内してくれた。1か月後、この円形ホールでイノウエ議員の元首級の告別式が行われるとは吃驚した。連合軍司令官マッカーサー元帥の銅像と共に記念撮影。

11/13 ダニエル・イノウエ上院議員室訪問、秘書から対日政策(12/17ダニエル氏が死去され元首級の葬儀が行われた)



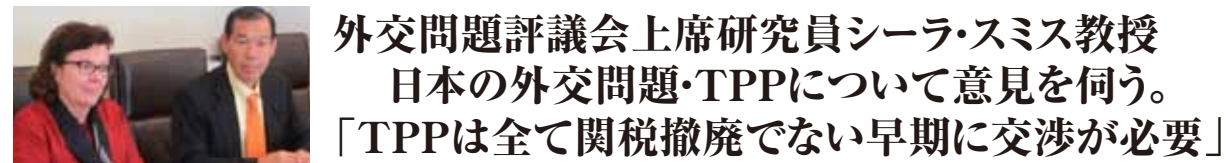
ダニエル・イノウエ上院議員の政策秘書Mary Yoshioka氏が考え方を述べた。日本は米国の最も重要なパートナーである。尖閣諸島は中国が領土問題で日本の対応を試していると思う。TPP交渉には米国内にも日本が参加することに反対意見があるが参加し経済が拡大することを望む。米国は「経済の崖」問題を抱えている。日本の財政赤字の規模は懸念している。

11月12日～21日 アメリカ合衆国 静岡県議会視察団



米国連邦議会議事堂

11/13 静岡県議会として初めて米国外交トップと会見



外交問題評議会上席研究員シーラ・スミス教授 日本への外交問題・TPPについて意見を伺う。「TPPは全て関税撤廃でない早期に交渉が必要」

「外交問題評議会」はアメリカの対外政策決定に著しい影響力を持つ超党派の組織で外交誌「フォーリン・アフェアーズ」の刊行で知られ約50名の研究員がいる。面談のシーラ・スミス女史は日本専門上席研究員で日本語は堪能。著書「沖縄と戦後の日本平和」
米国経済も中国経済成長に大きな影響を受けている。中国は言論の自由を与えるべき。米国は中国の力を防ぐことが大きな関心。
日米同盟関係はトモダチ作戦や尖閣諸島問題でも協力があり、アジアで最も近いパートナーだが日本の内政は複雑化しており懸念がある。領土問題は中国と日本の首相が協力して解決すべき。
TPPは日本の経済規模から参加すべきである。TPPと日韓FTAは機能的に異なる。日本にはどちらもメリットがある。農産物は米国だけでなくオーストラリア、ニュージーランドでも話し合いが必要であり、関税については100%撤廃ではない。実際に交渉に参加して始まるものである。
(米国は砂糖、乳製品の自由化に反対。日本に対しては自動車産業がTPP参加に反対している。)

11/17 カルフォルニア州とネバダ州境シエラネバダ山中のタホ湖観光局



米国で2番目、世界でも11番目に深い湖。水深は505m。周囲は約114km。周囲を山に囲まれ、山で濾過された水が流れこみ透明度が高く、湖底は花崗岩のため水が汚れない。BMP管理し、住宅からの排水は処理して湖に流す。固有の生息種の淡水魚の鮭がいる。周囲の山には黒熊、コヨーテ、ピューマが生息している。レジャーはヨット、ジェットスキーなど楽しめる。

11/16 リノスパークスコンベンションセンター



コンベンションホールは5展示ホール、53会議室、1舞踏場、駐車場1,700台と規模は全米で20位で47,000人の集会、スポーツイベント、航空機の展示会などが可能。年間収入210万ドル、経費300万ドルと赤字だが、リノ市の宿泊税2000万ドルから補填される。先の大統領選挙でオバマもロムニーも大会を開催している。



ワシントンDC到着
ワシントンDC国連ビル
NYマンハッタン
遠くに自由の女神像
NYダウントウン
ワシントンDC記念塔
自由の女神像は数キロ離れて夜間望遠で撮影
街はクリスマス装飾。ワシントンDC記念塔

イノウエ上院議員の執務する仮議長室
自由の女神像は数キロ離れて夜間望遠で撮影
街はクリスマス装飾。ワシントンDC記念塔



リノ市郊外の住宅団地
サクラメントの路面電車
サクラメント市庁舎
サクラメント火災で出動
サンフランシスコ
人気のケーブルカー
サンフランシスコ市街
サンフランシスコ空港

11/14ワシントンDC日本大使館広報文化センター



日本文化講座が開催されメリーランド州小学校3年生150人が受講していた。日本のアニメや鉄道、ゲーム機の映像が流れると歓声が上がった。このセンターは一般国民や教育者向けに日本を理解させるために活動を行う。展示、講演会や日本映画鑑賞会は毎月開催。静岡県のPRIにはぜひセンターを活用してほしい。



9.11事件跡地のエンパイア・ステートビル
大統領官邸 ホワイトハウス
ワシントン・レンタサイクル
ネバダNoプレート
アメリカ大陸横断トローラーは超特大
観光バスでゆったり移動
サクラメントの電気屋

11/15 グランド・セントラル駅の列車運行 危機管理



ニューヨークのグランドセントラル駅は1913年に開設。現在1日の利用者が約75万人、ラッシュ時には58秒ごとに列車が入る。毎日667本の列車が運行し120以上の駅が管理され定時運行は98.99%と米国では最高水準である。危機管理は9.11の体験、台風サンデー大停電でトンネル内5千人の乗客を1時間で救出した。

11/15 自治体国際化協会ニューヨーク事務所



自治体国際化協会本部は東京だが7つの海外事務所を持つ。ニューヨークは北米とカナダを所管し、外国青年招致事業(JETプログラム)として日本の学校に英語教師として外国青年を派遣している。日本の自治体、地域の国際姉妹都市交流を推進している。ニューヨーク事務所は12名が勤務し、現地採用2、総務省2、警視庁1、東京都、宮城・和歌山・兵庫・沖縄の各県、堺市から各1名が派遣され運営し、北米やカナダの市長会や知事会との連携で経済・文化交流や先進事例の調査研究も行っている。
緒方孝昭所長(兵庫県)から「日本は地域の和食器、日本酒、美術品、芸術品等を北米に売り込んだらどうか。」との提案や日本茶は伊藤園が積極的に事業展開している。米国ではブームになっている。藤枝のお茶を広報したい場合、当方が出店可能なイベントを紹介するし、JETROと連携して出展の支援をしていく。

11/19 サクラメント危機管理局



サクラメントでは2本の大きな川が流れ、大半の住宅地域は堤防に囲まれた中にあり、洪水対策が最大の課題となっている。洪水対策以外では、騒乱・暴動、危険物の漏出などに対応を強めている。洪水の浸水地域で家がなくなった方にはシェルターも提供する。このシェルターでは、食事の提供や必要であれば医者の手当て、精神的な手当ても行う。予算は180万ドル。この100万ドルが機器・設備のための費用、80万ドルが人件費となっている。職員は通常時は8名。災害時の初動体制で20名、最大で100名が必要となる。